

三菱ダクト用換気扇中間取付形ダクトファン
(24時間換気機能付 DCブラシレスモーター搭載/定風量タイプ)

形名	V-20ZMVR3
----	-----------

据付説明書

販売店・工事店様用

4. 据付方法 ③ ダクト接続 つづき

4 電気工事

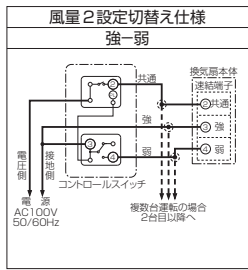
電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。

● 結線図（太線部分を結線する）

お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターや制御回路が故障します。誤結線によるモーターや制御回路故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様の負担となりますので結線図を十分ご確認の上、結線してください。
- 結線図の(●)部分の接続部は市販のジョイントボックスに取めてください。

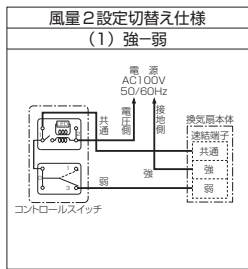
DCタイプ専用コントロールスイッチ（P-04SWLV₂）を使用する場合



● 適応コントロールスイッチ

コントロールスイッチ	
形名	定格
P-04SWLV ₂	15A-AC300V

その他のコントロールスイッチを使用する場合

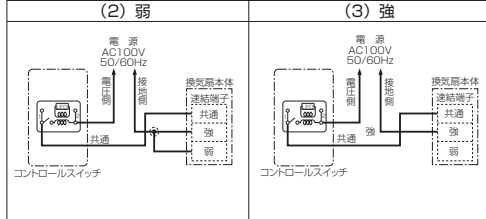


● 適応コントロールスイッチ

風量切替	コントロールスイッチ	
	形名	定格
2設定切替 (1) 強-弱	P-04SWL ₂	4A AC300V
単一設定 (2) 弱	P-10SWL ₂	
(3) 強	P-10SW ₂	

- コントロールスイッチ（ランプ付）の仕様により「強」「弱」切替でランプの点灯が薄くなったり、ちらついたりすることがありますが異常ではありません。

単一風量設定仕様



● 複数台運転について

- コントロールスイッチ1個で換気扇を複数台運転させる場合、下記の指定台数を超えないでください。換気扇の突入電流によりコントロールスイッチが故障する原因となります。

DCタイプ専用コントロールスイッチ（P-04SWLV₂）を使用する場合

- コントロールスイッチ1個で運転できるDCブラシレスモーター搭載ダクト用換気扇の台数は3台までです。

その他のコントロールスイッチを使用する場合

● コントロールスイッチ（ランプ付き）の使用について

- 定格4A-AC300V仕様のコントロールスイッチ1個で運転できるDCブラシレスモーター搭載ダクト用換気扇の台数は1台です。

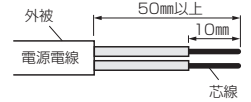
● コントロールスイッチ（ランプ無し）の使用について

- 定格15A-AC300V仕様のコントロールスイッチ1個で運転できるDCブラシレスモーター搭載ダクト用換気扇の台数は3台までです。

● 結線の前に

お願い

- 市販のコントロールスイッチで24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。
- 電源電線の外皮は50mm以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。（10mm以上むくと漏電の原因となります）
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は、接続部にかが加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、モーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください）



● 電圧チェック表

- 線間電圧が下記の電圧であることを確認してください。

警告

- 電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

DCタイプ専用コントロールスイッチ（P-04SWLV₂）、その他のコントロールスイッチ（単一風量設定仕様：弱）の場合

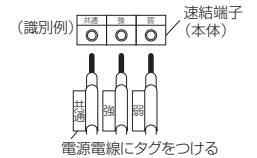
スイッチ	線間電圧(V)	
	共通-強	共通-弱
切	0	0
入-強	100	0
入-弱	100	100

その他のコントロールスイッチ（風量2設定切替仕様）の場合

スイッチ	線間電圧(V)	
	共通-強	共通-弱
切	0	0
入-強	100	0
入-弱	100	100

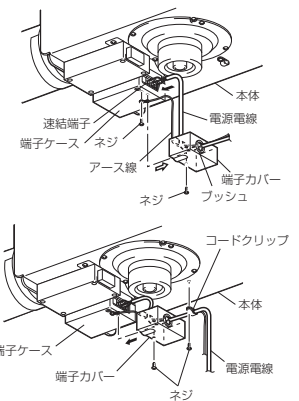
● 電気配線の識別

- 電気配線を間違えるとモーターや制御回路が故障します。
- 正しく結線するために、電気工事の際、各電源電線を識別できるようにしてください。（右図参照）



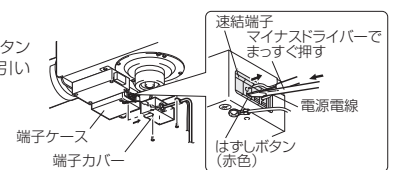
● 結線方法

1. 端子カバーのネジ1本をはずして、端子カバーをはずす。
2. 電源電線（屋内配線VVFケーブル、φ1.6またはφ2）を端子カバーのプッシュに通し、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（右図参照）
3. 落雷による回路保護のため、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。
4. 端子カバーを元どりの位置にネジ1本で固定する。
5. コードクリップで電源電線を固定する。



● 電源電線ははずす場合

- マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン（赤色）をまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずしてください。



別冊の「据付説明書 ⑤ 風量設定」へ つづく